

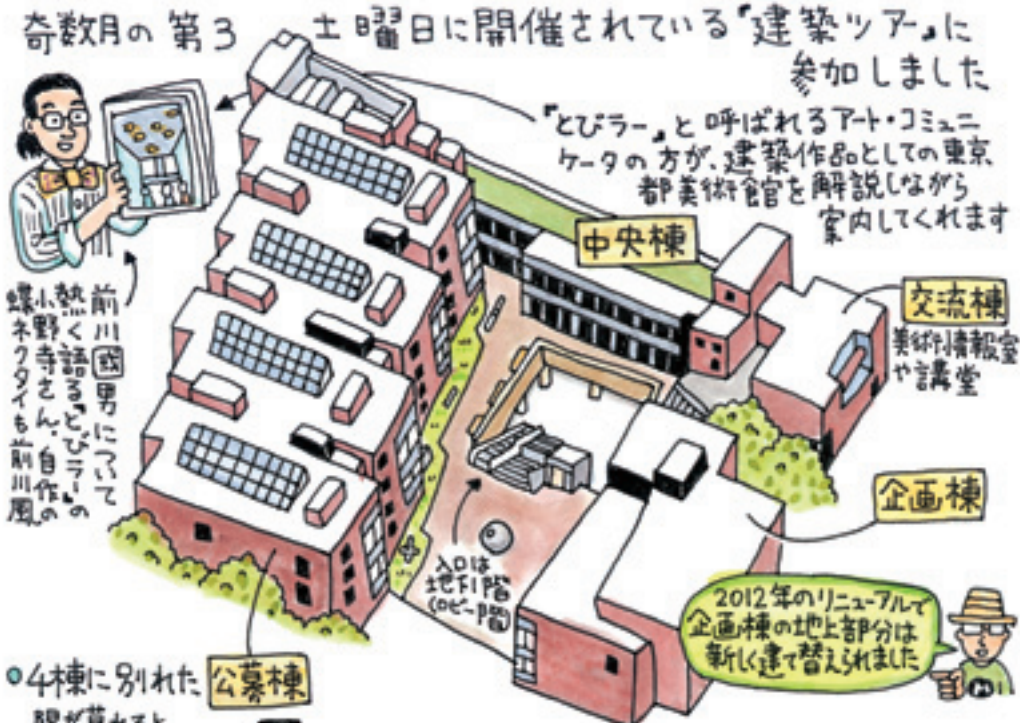
東京都美術館

現在の東京都美術館は1975年、前川國男の設計で建てられました。



公募棟
球体に映り込む企画棟
門を入ると目とび込んでくる銀色の球体
井上武吉作の野外彫刻《my sky hole 85-2 光と影》
美術館全体が映り込むように設置されている

ル・コルビュジエの弟子で日本近代建築の巨匠、上野公園内の東京文化会館も彼の設計です

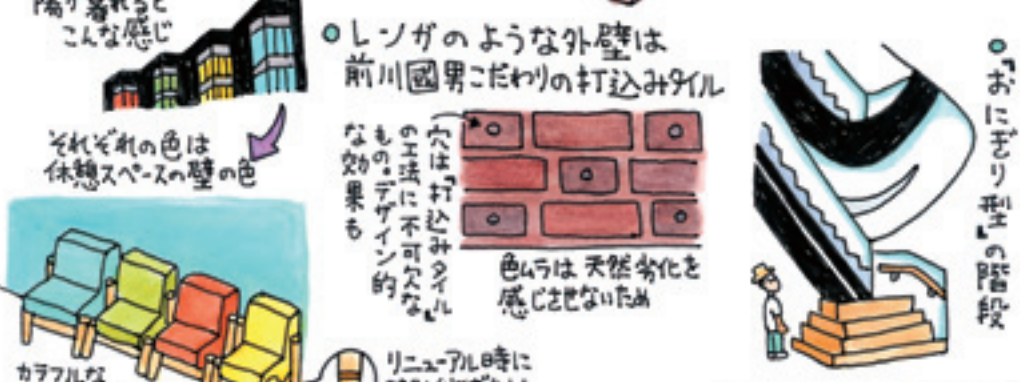


奇数月の第3 土曜日に開催されている「建築ツアー」に参加しました
「とびら」と呼ばれるアート・コミュニケータの方が、建築作品としての東京都美術館を解説しながら案内してくれます
中央棟
交流棟
美術情報室や講堂
企画棟
2012年のリニューアルで企画棟の地上部分は新しく建て替えられました
前川國男について熱く語る「とびら」の野寺さん、自作の螺旋タワーも前川風



敷地内には10点の野外彫刻があり
五十嵐晴夫作《メビウスの立方体》あれ、どうなるの？
大気汚染の調査樹のれが!!
公募棟南側のイチヨウの木

日本初の公開型美術図書室
美術図書録、美術雑誌などが閲覧できます
美術情報室



4棟に別れた公募棟
陽が暮れるとこんな感じ
それぞれの色は休憩スペースの壁の色
レンガのような外壁は前川國男こだわりの打込みスタイル
おにぎり型の階段
色ムラは天然劣化を感じさせないため
六は打込みスタイルの工法に不可欠なもの。デザイン的にも効果も
リニューアル時に脚印を消滅させた
カラフルな椅子が並んでいます



「M cafe(はな)」にて
館内には2店のカフェがあります
温玉マサラカレーサラダ付 (180円)
カフェから見える野外彫刻
チョコレートパイズル (760円)
ミュージアムショップの隅で見つけた
伝説の金印筆 BLACK WING の複製版 (194円)
キャンタラ社のおにぎり型消しゴム (280円)

1926年に日本で初めての公立美術館・東京府美術館として誕生(都美術館の前身)。5つの建物がロビー階でつながる複雑な建物で、美術館を支えるアート・コミュニケータの「とびら」さんに案内していただきました。
絵・文/溝口イタル